

第13回安曇野市議会報告会

参加案内 及び 報告会資料

実会場(市役所4階大会議室)とオンラインでの同時開催
といたします。

1 日 時 令和8年7月18日(土)

開始：午後6時

終了：午後8時30分予定

2 会 場 安曇野市役所 本庁舎4階大会議室(開場：午後5時30分)

3 内 容 ○令和7年7月から令和8年6月の議会活動について
○要望・意見交換

安曇野市議会

第13回議会報告会参加案内

1 会場での参加について

お申し込みは不要です。

当日、午後 5 時 30 分から受け付けいたしますので、市役所 4 階大会議室にお越しください。

会場へは、市役所 1 階東側入口からお入りいただき、フロア中央のエレベーターをご利用ください。

なお、マスク着用等は個人の判断とします。

2 議会報告会（オンライン開催）への参加方法について

（1）事前にしていただくこと

参加するには、事前にご自身のスマートフォン、タブレット端末、パソコンにオンライン会議システム「Zoom」のアプリをインストールしてください。

※パソコンの場合は、アプリをインストールせずにブラウザ（ホームページ閲覧ソフト）からも参加できます。

（2）当日にしていただくこと

ア Zoom アプリを使用される方

次のミーティング ID・パスワードを入力してください。

ミーティング ID: 812 8356 9460

パスワード:000000

イ パソコンのブラウザを使用される方

URLを入力し、次のミーティング ID・パスワードを入力してください。

URL : <https://us06web.zoom.us/j/81283569460>

ミーティング ID: 812 8356 9460

パスワード:000000

ウ 報告会当日の開始時刻（午後 6 時）の 10 分前を目安に入室いただけますので、時間までお待ちください。

（3）オンライン参加にあたっての注意事項等について

ア 議会報告についての質疑や意見交換で、参加者のみなさんにも発言をしていただける双方向の場となります。参加される方は、お顔出しとし、お名前（愛称でも可）を表示してください。接続後は次の手順で名前（表示名）を変更できます。

■パソコンの場合

- ①画面下部の“参加者”タブをクリック
- ②自分の名前にカーソルを合わせる
- ③詳細ボタンをクリック
- ④名前の変更をクリックし、変更する

■スマートフォンの場合

- ①“参加者”をタップ
- ②自分の名前をタップ
- ③“名前の変更”から変更する

イ 開催中は、基本、参加者はマイクオフ（ミュート）とします。報告後の質疑や意見交換の際は、「手上げ機能」を使っていただき、司会がマイクオン（ミュート解除）を依頼しますので、マイクオン（ミュート解除）にしてお話してください。

ウ チャット機能は使用しないでください。

エ 本報告会への参加費は無料ですが、通信費等は参加者の自己負担となります。Wi-Fi 環境での接続を推奨いたします。

オ ご使用いただく端末及びアプリケーション・操作方法に関する技術的なお問い合わせについては、事前・当日ともに対応いたしかねます。

3 会場参加・オンライン参加共通の注意事項等について

- （１）報告会の様子は、録画し、後日市議会ホームページで配信します。参加者の中で発言された場合、お顔も含めたやり取りの映像が録画され、配信されることをご了解ください。
- （２）参加者の録画・録音・撮影はお断りします。
- （３）当日は、手話通訳者による同時通訳を行います。

4 アンケートのお願いについて

- （１）会場参加の方は、報告会終了後にその場でご回答ください。
- （２）オンライン参加の方は、当日チャット機能や市議会 HP でお知らせする「ながの電子申請サービス」から、令和 8 年 7 月 22 日（水）午後 5 時（必着）までにご回答ください。

5 議会報告会資料について

この資料は、令和 8 年 7 月 9 日現在となります。報告会当日までに校正等により一部変更となる場合もあります。

第13回 安曇野市議会報告会

主催：安曇野市議会
(令和8年7月9日時点資料)

令和8年7月18日

本日の次第

- 1 開 会
- 2 主催者あいさつ
- 3 議会報告・質疑
 - ①総務環境委員会
 - ②福祉教育委員会
 - ③経済建設委員会
 - ④議会運営委員会
 - ⑤議会改革推進委員会
 - ⑥議会広報特別委員会
 - ⑦議長諮問の進捗

(議運、改革、ICT、広聴交流)
- 4 議会全般に対する質問・意見
- 5 閉 会

第6期安曇野市議会議員

議長

増田 望三郎



市政や議会につ
いての発信

副議長

中村 今朝子



福祉・教育・子育
て支援

※写真下のコメントは、議員としての得意分野等です。

委員長
矢澤 毅彦



子育て目線・防
災・まちづくり

副委員長
内川 集雄



労働者問題

総務環境委員会

※下段議員の掲載順は、左から議席番号の小さい順です。
※写真下のコメントは、議員としての得意分野等です。

中村 今朝子



福祉・教育・子
育て支援

平林 明



バランス感覚

臼井 泰彦



教育・平和

木船 潤一



自治会運営・地域
づくり活動

田口 貞夫



若い世代が働け
る環境づくり

委員長
大竹 啓正



経済・産業・金融

副委員長
増井 裕壽



青年参画・景観保
全・現場主義

福祉教育委員会

※下段議員の掲載順は、左から議席番号の小さい順です。
※写真下のコメントは、議員としての得意分野等です。

吉澤 茉帆



ジェンダー・子育
て環境

野部 知江



福祉・生活・農業

今井 美智子



教育・福祉・観光・
地域づくり

菊池 久美子



自然保護・人権擁
護

丸山 健太



高齢者介護・災害
福祉・地域づくり

委員長
中村 芳朗



市民の安心安全
な暮らしを守る

副委員長
辻谷 洋一



地域経済支援・観
光振興

経済建設委員会

※下段議員の掲載順は、左から議席番号の小さい順です。
※写真下のコメントは、議員としての得意分野等です。

林 孝彦



国際、環境、福祉、
教育、文化

一志 信一郎



国営公園と周辺
の観光案内

遠藤 武文



関係人口拡大

高橋 健



観光誘客、移住
推進など

小林 浩



農業・観光・イベン
ト



今回の議会報告会は、実会場とオンラインによる同時開催です。

報告会資料は、市役所や支所、交流学習センターなどで配布し、市議会ホームページにも掲載します。また、報告の模様を録画した映像を準備が整い次第、市議会ホームページにおいて配信しますので、ご覧ください。

総務環境委員会

発表者：委員長 矢澤 毅彦

所管

危機管理課／総務部／政策部／市民生活部／会計課／監査委員事務局／選挙管理委員会事務局／公平委員会事務局／固定資産評価審査委員会事務局／議会事務局 他の委員会に属さない事項

予算・契約など 主な審議案件

市民生活に身近なテーマから、委員会で審議した主な案件を4件掲載

R7 12月補正



穂高墓地公園・合葬墓

- ・合葬墓建設(増設)に伴い駐車場を50台分増設
- ・合葬墓の受入数は800体→1,200体を想定
- ・霊園管理と墓じまい需要に関わる事業

R8 当初予算



太陽光発電等の補助増額

- ・既存住宅の太陽光発電の補助上限は20万円
- ・定置型蓄電システムの補助は10万円
- ・ゼロカーボン推進と家庭の防災力向上を後押し

R8 1月臨時会



本陣等々力家再生・活用

- ・PFI手法による事業契約を審議
- ・市有形文化財を含む古民家群の保存・活用
- ・観光・交流拠点化と官民連携の視点
- ・令和11年度中に開業を目指す計画

R8 当初予算



災害時対策用トイレカー

- ・災害時・避難所の衛生環境確保に向け導入
- ・平時の訓練・啓発での活用も想定
- ・地域防災力と危機管理体制の強化に関わる事業

総務環境委員会で審査した陳情・請願・議員提出議案

1

令和7年12月議会

陳情第10号 「消費税減税を求める意見書」の提出を求める陳情書

採択すべきもの

2

令和7年12月議会

議員提出第10号 東京電力柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働の見直しと
近隣県民の意思の確認を求める意見書

不採択とすべきもの

3

令和8年3月議会

議員提出第2号 アメリカ合衆国とイスラエル国によるイラン・イスラム共和国に
対する先制攻撃を厳しく非難し、即時中止を求める意見書

採択すべきもの

4

令和8年3月議会

議員提出第3号 非核三原則の堅持を求める意見書

採択すべきもの

政策提言関係

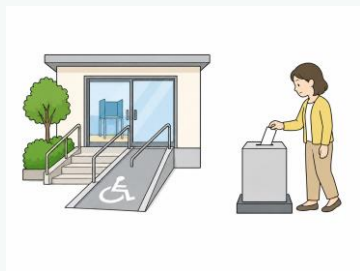
令和7年提言

防犯カメラなどの防犯対策と安全安心なまちづくりについて



防犯カメラの設置は、必要性・有効性と個人情報保護・プライバシー保護との両立が前提です。市民アンケートや意見公募を通じて意見を丁寧に聴き、司法関係者など有識者を交えた慎重な検討を求めるとともに、防犯灯の計画的増設や市民への周知啓発の充実も提言しました。

令和8年提言(予定) 投票しやすい環境づくり



選挙の投票率向上には多角的なアプローチが不可欠です。まずは投票所の投票環境を向上させることを主軸に、また、若年層を含む選挙事務への参加やきっかけづくりなど、主権者教育の切り口からも取り組みを模索する予定です。安曇野市選挙管理委員会への聞き取りが終わり、近隣含む全国の事例を参考にしつつ、神奈川県横浜市や相模原市など先進自治体の事例研究を行う予定です。

福祉教育委員会

発表者：委員長 大竹 啓正



福祉教育委員会の発表 安曇野市子どもの権利に関する条例



2年間の調査研究を経て制定

① これまでの調査・研究

- 子どもの権利に関する研修
- 先進自治体への視察
- 子どもたちへのアンケート
- 関係団体との意見交換

約2年間にわたり調査研究

② パブリックコメント



- 令和7年7月 締切
- 4名から16件の意見
- 8月に結果公表
- 意見を踏まえ条例案を整理



③ 条例制定



- 令和7年9月定例会
- 福祉教育委員会が議員提出
- 議員提出第7号
- 9月18日 **原案可決**



④ 条例の基本理念



11月20日 子どもの権利の日

⑤ 政策提言

周知啓発

相談窓口の機能強化

権利侵害に関する救済機関の検討

子ども・若者の声を市政に反映する仕組みづくり

条例をつかって終わりにしない

⑥ 令和8年度予算



- 講演会
- 啓発用リーフレット作成
- **16万円**を計上

今後に向けて

学校・家庭・地域・行政・議会が連携し、
子どもが安心して声を出せるまちづくりへ



学校



家庭



地域



行政



議会

議会での主な動き

市民の暮らし・教育・医療・福祉を支えるために、国や県への働きかけを行いました！



12月定例会

● 陳情第8号

診療報酬・介護報酬及び
障害福祉サービス等報酬
10%以上の引き上げを求める意見書

可決

概要 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬について、医療・介護・福祉現場の人材確保と経営維持のため、国に対し10%以上の引き上げを求める意見書。



● 陳情第11号

私立高等学校に対する
公費助成をお願いする陳情書

可決

概要 私立高校に通う生徒・保護者の教育費負担軽減と教育機会の確保のため、私立高校への公費助成の拡充を国や県に求める陳情。



3月定例会

● 議員提出第1号

教育予算として、
教育予算の確保を求める
意見書

可決

概要

教育予算の確保（現行5年）の見直しと、長期保存に必要な費用負担・セキュリティ・患者アクセス体制の整備を国に求める意見書。



6月定例会

● 請願第1号

採択



「こどもたちの少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書

● 陳情第1号

不採択



社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情

● 陳情第2号

継続審査



幼児期からの包括的性教育の推進のため意見書提出を求める陳情書

● 陳情第3号

不採択



公立中学校における平和教育及び核外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

いずれも、よりよい制度・教育・社会の実現のために、国や県へ意見・要望を届ける大切な取り組みです。





人生の転機に寄り添うメンタルケア

～切れ目のない支援と『ケアする人のケア』を目指して～



1 テーマ設定の理由

産後



介護



障がい



不登校



喪失(グリーフ)



- 人生の転機には大きな心理的負担が伴う
- 産後・介護・障がい・不登校・喪失(グリーフ)などが対象
- 支援制度や相談窓口は分野ごとに分かれている
- 必要な支援につながりにくい状況がある
- 家族・教職員・支援者など『支える側』の負担も大きい



メンタルケアを
分野横断の
共通課題として検討!



2 これまでの調査・研修

講演・意見交換



4/8・5/19
信州大学附属病院
村上寛医師

- 周産期メンタルヘルス
- グリーフケア
- 切れ目のない支援



視察・ヒアリング

5/22 有明高原寮



3 今後の予定

① 関係機関へのヒアリング



② 市内の関連施策の整理



③ 先進自治体(重層的支援体制整備事業実施自治体等)の調査・視察



④ 分野横断的な連携と支援体制のあり方について提言を検討



經濟建設委員會

発表者：委員長 中村 芳朗

安曇野の豊かな自然を守り「経済の活性化」と「市民の安心安全な暮らし」ために取り組んでいます。
所管部署は、農林部（農業委員会・山林財産区）・商工観光スポーツ部（産業団地関連）・都市建設部（土地利用）・上下水道部



市営住宅柏原団地 改修工事

令和 8 年度市営住宅柏原団地17～20号・29～32号改修工事（Ⅱ期）請負契約
契約金額 217,800,000 円
契約相手方 株式会社武井組



本陣等々力家再生・活用事業

本陣等々力家再生・活用事業に係る契約
金額 989,450,000 円
契約相手方 Good Ancestors株式会社



景観条例の改正

高さ制限（市内全域 30m以内）
⇒ 景観法に基づき勧告が行える
景観重要眺望点指定制度の導入
市との事前協議の義務化（60日前まで）等



安曇野市・松本市山林組合の解散

安曇野市・松本市山林組合の解散（R8.3.31）
組合に関する基金条例の制定



さとぷろ。工房 ～夢スペース～ オープン

令和8年3月28日穂高有明に里山再生計画に基づく活動の一つとして、交流スペースや木材の販売・木工加工などができる工房がオープン、市産材の活用や里山再生への理解を深めるための施設。

陳情の審査結果

陳情第1号 「穂高地区における高層ホテルの計画変更及び地下水調査の陳情書」 審査未了

陳情第7号 「有害鳥獣駆除に関する陳情書」 採択

陳情第9号 「豊科地区ホテル建設計画に関する十分な説明と住民意見の反映を求める陳情書」 不採択

陳情第12号 「安曇野市穂高地区における高層ホテル建設計画に関する陳情書」 不採択

令和7年テーマ 持続可能な安曇野の農業を目指して

安曇野市の農業は、担い手不足や高齢化の進行等に伴い、受け手のいない農地（樹園地）、資材・農業機械の高騰、中山間地の小規模農地、狭あい農道や有害鳥獣被害などによって営農経営に対する魅力が薄れ、将来に不安を抱いている。

このような状況で、市としてあらゆる施策を実施しているが、更に少子高齢化の問題から生じた農業問題をチャンスに変えようとの視点にたって5項目の政策提言を行った。

令和8年テーマ案 空き店舗等を活用して、 ウォーカブルなまちなかを形成し、 中心市街地等の活性化を図る

安曇野市でも他の自治体と同様に中心市街地の空洞化（空き店舗・空き家等）が起きている。

現在、政策提言に向けて調査、研究（先進地視察も予定）をしている。

議会運営委員会

発表者：委員長 大竹 啓正

議 会 運 営 委 員

委員長
副委員長
委員

大竹
辻谷
内川
林
平林
臼井
木船
田口

啓正
洋一
集雄
孝彦
明彦
泰潤
貞夫

議会運営委員会 活動報告① ～より効率的で透明性の高い議会へ～

本資料は生成AIで作成しました

報告者：議会運営委員会 委員長 大竹啓正



条例の検討

市民の権利と安心を守るルールの整備

子どもの権利に関する条例：議会運営委員会で審査し令和7年9月議会で可決

ハラスメント防止条例：弁護士からの法的助言をもとに議論。次期へ検討を引き継ぎ、政治倫理条例の規定に盛り込む方向も含めて協議中。



運営の改善・効率化

迅速でスムーズな議会運営への刷新

ルールの明確化：一般質問での発言取消し基準の整備や、議員提出議案の提出者は賛成討論を決定。

会議の効率化：一括採決時の議長の次第を「以上〇件は」と簡明化。



審議の手順の統一

契約議案の審議プロセスの透明化

審議・説明手順の統一：初日提案（開会前全協等で説明）と最終日提案（会期中の委員会等で説明）の審議フローを明確化し、委員会付託を省略する方式に統一。

市民から見て分かりやすい、透明性の高い審議手順を構築。



執務環境の改善

時代に合わせた柔軟な環境づくり

22 柔軟な運用：クールビズ期間（5～10月）の定着、議案質疑通告締切の後ろ倒しなど、議会日程の柔軟な調整を実施。

議会改革推進委員会

発表者：委員長 辻谷 洋一

議会改革推進委員

委員長
副委員長
委員

辻谷 洋一
吉澤 茉帆
内川 集雄
林 孝彦
平林 明
一志 一郎
臼井 彦
大竹 正文
遠藤 正
小林 浩

洋一
茉帆
集雄
孝彦
明
信一郎
泰彦
啓正
武文
浩

安曇野市議会先例改正前後の比較（選出方法の平等化）

（本資料は生成AIで作成しました）

【改正前】 令和5年4月5日時点



「会派按分」が主



構造的課題：

無所属議員は希望が通りにくい構造。
（委員選出において、会派への所属が事実上優位に働く仕組み）

【改正後】 令和7年10月1日時点



「機会均等」が主



常任委員：抽選制も導入し、全議員に
公平なチャンスを保証。



無所属議員：3人以上で会派と同等の
枠組みへ。



特別委員：按分とくじ引きを組み合わせ、
より透明性の高い選出へ。



【まとめ・改革の成果】 選出機会が「ほぼ同等」に！

会派の有無を問わず、すべての議員が平等に参画できる「公平性の高い議会」へと進化します。

25

議会広報特別委員会

発表者：委員長 矢澤 毅彦

議会広報特別委員

委員長
副委員長
委員

澤井村部船井橋口池山
矢増中野木今高田菊丸

彦壽朗江一智子
毅裕芳知潤美健貞夫美子健太

議会広報特別委員会の取り組み

(本資料は生成AIで作成しました)



基本方針 正確に、わかりやすく、読みやすく、親しみやすく。議会の動きを市民に伝える。

1 議会だよりの概要



- 表紙・裏表紙のみカラーの24ページ綴り。
- 発行月:5月・8月・11月・2月
- 発行部数:39,300部(広報あづみのを参考に)
- 予算:約570万円(一冊あたり約40円)
- 配布方法:「広報あづみの」と共に、新聞折込とポスティングを併用し、各戸配布。
- 議会だよりモニター制度は、今年度も引き続き実施し、市民の声を紙面づくりに活かしています。
- 各議員の一般質問部分は、基本的には質問者の執筆編集によるものです。

2 第6期の特徴・研究中的こと



- 委員10人中8人が今期初めて議会広報に取り組むということで、先入観にとらわれ過ぎない形で取り組んでいます。
- 様々な可能性を考慮して、紙面構成や編集の仕方等の改善検討に取り組んでいます。

主な取り組み

- ・読まれる紙面づくり
- ・見出し、写真、図解の活用
- ・編集・校正ルール共有
- ・表記・要約・確認基準の整理
- ・役割分担と負担軽減の工夫



3 直近4号分の表紙



第79号



第80号



第81号



第82号

議会だよりの作り方 | 制作の流れ

企画から発行まで、段階ごとに確認しながら紙面をつくります。



1 企画

何を伝えるか決める



2 原稿整理

質問・答弁・
審査内容を要約



3 編集・校正・アドバイジング

見出し・写真・レイアウト調整／
誤字脱字・事実確認・読みやすさ確認



4 発行・配布

市民の手元へ
届ける

議長諮問の進捗について（１）

発表者： 議会運営委員会 委員長 大竹 啓正

議会運営委員会 活動報告② ～4つの重要課題への対応状況～

報告者：議会運営委員会
委員長 大竹啓正

本資料は生成AIで作成しました

課題1：政治倫理条例の制定
(ハラスメント防止規定含む)

担当：
議会運営委員会

 素案協議中

専門家を招聘した全議員対象の勉強会を7月14日に実施。条例の素案を提示して、全員参加のもとで協議を進行中。

課題2：政策提言のあり方

担当：
議会改革推進
委員会

 具体的検討へ

「議会住民全体の代表である」という原則を踏まえ、単なる可否ではなく、具体策や実行方法含めた答申を行うよう依頼文を发出。

課題3：ICTの活用

担当：
ICT活用研究会

 推進中

共用プリンター印刷枚数の注意喚起によるペーパーレス化の強化な推進。さらにSNSの活用や議会広報の充実に向けた講演会を実施。

課題4：広聴交流部会の設立

担当：
高校生広聴
交流研究会

 組織発足

任意グループから発展し、「高校生広聴交流研究会」として明確な要綱を成案決定。6名の委員を指名し、若年層との意見交換に向け始動。

30

いずれの課題も、安曇野市議会の『透明性』『公正性』を高め、『市民との距離を縮める』ための重要なステップです

議長諮問の進捗について（2）

発表者： 議会改革推進委員会 委員長 辻谷 洋一

議会改革推進委員会 活動報告

市民とともに歩む、より開かれた議会へ

本資料は生成AIで作成しました



委員長
辻谷 洋一

諮問の3つの柱

1 市民の声を聴く
仕組みの構築

2 政策提言の
「全員一致」要件の是非

3 行政の取組状況を
確認する仕組み

委員会の決定事項



【全員一致の継続】

政策提言は「全員一致」を原則とする。

議会としての「重み」と「説得力」を最大限に発揮するため、妥協なき議論を継続します。



【行政への期限付き回答要求】

提言後のフォローアップを徹底。

提言への回答に「期限」を設けるよう求めます。
「提言しっぱなし」を防ぎ、行政の実行力を担保します。



³²【市民の声を聴く試験的取組】

各常任委員会単位で対話を実施。

より身近なテーマで市民の皆様の声を直接市政に届けるため、委員会ごとのヒアリングを試験導入します。

「提言しっぱなしにせず、行政の対応をしっかりと確認・報告する責務を果たします。」

議長諮問の進捗について (3)

ICT研究会

会 長
副会長
委 員

丸山
矢澤
中村
増井
田口
小林

健太（発表者）
毅彦
今朝子
裕壽
貞夫
浩

安曇野市議会 ICT活用に関する研究会の活動報告

(本資料は生成AIで作成しました)

研究会の概要

- ✔ タブレット端末の本格運用は、令和6年3月定例会から開始。
- ✔ 今期、新たに「オンライン会議の検討・準備」「SNS発信の検討・準備」の2つを諮問。
- ✔ 令和8年3月27日から、2つのテーマで研究を開始しました。

タブレット活用の目的


ペーパーレス化・
コスト削減


災害時の活用
(継続的な議会運営)


議会運営の
効率化



1. 議会におけるオンライン会議の検討・準備

災害時など、議員が集まらない状況でも、オンラインで議論が続けられる「環境」と「スキル」を整えます。

ステップ1

方針の決定・合意

研究会の方向性を固め、議会に提案し、合意形成を行います。



ステップ2

トレーニングの実施

ビデオ通話から始め、画面共有やオンラインでのやりとりを練習します。
操作に不安のある議員はフォローします。



ステップ3

テスト運用と課題検証

打合せなどからオンラインやハイブリッド形式をテスト。
課題を洗い出し、運用ルールを調整します。



ステップ4

本格運用に向けた準備

防災訓練の実施、発動基準やルールの検討、Web会議システムの選定・予算化を進めます。



目指す姿

災害時など、どのような状況でも議会としての議論を止めない。
市民の安全・安心のため、迅速で的確な意思決定を行います。



2. 議会におけるSNS発信の検討・準備

市民とのつながりを広げ、開かれた議会を目指します。



① 研修の実施

ネットリテラシーや、情報発信時の注意点を学び、議会全体の知識を高めます。

6/1 研修実施
(PR TIMES
高田育昌氏)



② 調査・情報収集

他市町村の事例調査や視察を行い、効果的な手法を検討します。



③ 協議・合意形成

どのツールを使うか、どんな内容を発信するかを議会として協議し、合意形成を行います。



④ 運用開始 (2年計画で推進)

わかりやすく、信頼される情報を継続的に発信していきます。



デジタル技術を活用し、効率的な議会運営と、開かれた議会づくりを進めます。



議長諮問の進捗について（４）

広聴交流研究会

会 長
副会長
委 員

増井
野部
中村
吉澤
小林
丸山

裕壽（発表者）
知江
今朝子
茉帆
浩
健太



高校生との意見交換に向けた広聴交流研究会の活動報告



1 広聴交流研究会とは



若い世代の声を
議会活動に生かすための研究会

市内高校生と議員の
意見交換の仕組みづくりを検討



目的：高校生の市政への関心向上
＋ 若者の声を市政課題の把握につなげる

3 松本市への視察



松本市議会の高校生との
意見交換の取組を視察

高校生が
主体的に話す
場づくりが重要



議員は“説明する人”だけでなく
“聴く人”に

出された意見を議会内で共有し、
政策や活動につなげることが大切



2 高校への意向調査結果



豊科高校



穂高商業高校



南安曇農業高校



明科高校

4校とも前向きな反応

- ✓ 高校生が地域や市政を考える機会として意義あり
- ✓ 学校行事・授業日程との調整が必要
- ✓ テーマ設定や事前学習への配慮も重要



4 豊科高校への視察

探究活動の様子を視察



生徒が地域や
社会の課題を自ら設定し、
調査・発表



高校生は地域を深く考える力を持っている

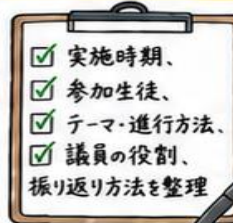
議会が一方向的に説明する場ではなく、
対等な意見交換が重要



5 今後について



高校生との
意見交換事業を
実際にスタート



若者の声を聴き、議会をもっと身近に！

御清聴ありがとうございました